



2019 年 2 月 5 日
みその都市デザイン協議会

アジア屈指のサッカー専用スタジアム「埼玉スタジアム」の立地する さいたま市美園地区
「シャトルバス優先走行化」第2回交通社会実験を3月に実施
 世界に誇れる“スタジアムタウン”の実現に向けた『スタジアムアクセス戦略』の推進

みその都市デザイン協議会（埼玉県さいたま市、会長：久保田尚埼玉大学大学院教授）では、2018 年 3 月策定の『美園スタジアムタウン：スタジアムアクセス戦略』に基づくプロジェクトの一環として、埼玉スタジアム 2002 で 2019 年 3 月 30 日に開催される J1 リーグ第 5 節（浦和レッズ対 FC 東京）に合わせ、試合終了後のシャトルバス優先走行化の第 2 回交通社会実験を実施いたします。本実験は、昨年 9 月 30 日に実施した第 1 回実験の結果分析を踏まえながら、取組定常化を見据え、規制区間等を変更して実施するものです。

さいたま市の“副都心”の 1 つに位置づけられる「美園地区」では、埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」を中心に、埼玉スタジアム 2002（以下「埼玉スタ」という）も囲みながら大規模な都市開発が進行中ですが、開発進捗に伴う地区内交通量の増加により、埼玉スタ来訪者動線と地域の生活動線との混在・輻輳が進んできています。そこで、みその都市デザイン協議会※1（以下、協議会）では、地域の居住環境や事業活動等と両立した、安心・安全で円滑かつ快適なスタジアムアクセス環境づくりに向けて、2018 年 3 月策定の『美園スタジアムタウン：スタジアムアクセス戦略』※2 に基づく具体策の検討・実施に順次着手してきております。

その取り組みの一環として協議会では、公共交通を中心とした交通手段への転換促進を見据え、サッカー開催後の埼玉スタ周辺渋滞悪化に伴い利便性低下の進むシャトルバス※3 の所要時間改善を目的に、2019 年 3 月 30 日（土）に埼玉スタで開催される J1 リーグ第 5 節（浦和レッズ対 FC 東京）に合わせ、シャトルバス優先走行化第 2 回交通社会実験を実施いたします。本実験は、昨年 9 月 30 日に実施した第 1 回実験の結果分析を踏まえながら、規制区間・時間の設定や案内誘導等の精度向上など、取組定常化を見据え実施するものです。

協議会では引き続き、2020 年東京五輪を短期目標に、地区内滞留促進策等の関連事業とも連携・連動しながら、公共交通の利便性向上、歩行環境・自転車走行環境の充実化を図る等、地区内の交通負荷分散に向けた施策を多角的に推進してまいります。地域関係者やサッカー観戦者等のご理解・ご協力を得ながら、サッカー開催日はもとより日常においても、サッカー・スポーツの感動や喜びを誰もが共有し、安心して快適な都市環境を次世代に伝える、世界に誇れる“スタジアムタウン”の実現を加速化させてまいります。



▲埼玉スタ周辺交通渋滞の様子（2016 年 10 月）



▲第 1 回交通社会実験の様子（2018 年 9 月）

3 月 30 日 シャトルバス優先化 第 2 回交通社会実験 実施概要

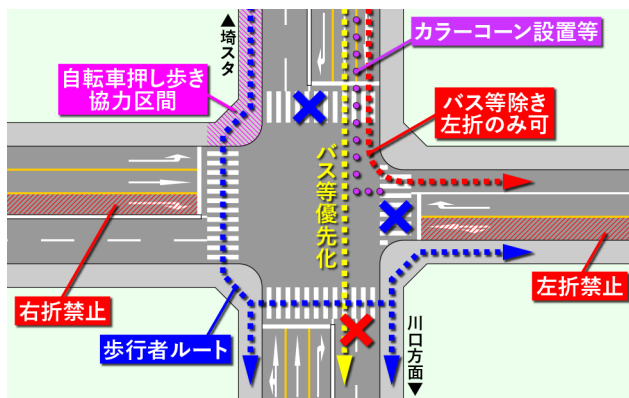
■目的 交通渋滞の直接的原因となっている自家用車から、公共交通を中心とした交通手段への転換（モーダルシフト）を目指し、シャトルバスの所要時間改善に向けた優先走行化の社会実験を行う。

■実施日時 2019 年 3 月 30 日（土）16 時頃～17 時頃

※2019 明治安田生命 J1 リーグ第 5 節 浦和レッズ vs FC 東京（14 時キックオフ）の試合終了後



▲社会実験実施範囲



▲交差点拡大図（交通規制イメージ）

■実験概要（予定）

交通規制	浦和岩槻線の川口方面一部交差点での車両進入を禁止。 ※バス・タクシー・緊急車両等を除く。
振分区間	カラーコーン・交通誘導員の配置等により、第1車線（沿道側）に一般車両を誘導し、第2車線（中央分離帯側）をバス等優先レーン化。
歩行者等誘導	交通規制交差点における車両誘導を円滑にするため、歩行者・自転車の浦和岩槻線西側歩道への通行誘導を実施。
車両迂回推奨ルート	一般車両について、県道浦生岩槻線・国道122号線など、迂回ルートの案内・周知を行う。 ※周知・案内ルートはUDCMi公式サイト・チラシ等にて随時情報更新。



▲実験最新情報
(UDCMi公式サイト内)

■効果測定調査概要

- ▶交通量調査： シャトルバス（所要時間）、自動車（渋滞長・滞留長、信号現示）

■実施体制

- ▶主催： みその都市デザイン協議会
- ▶運営： 浦和レッドダイヤモンズ(株)、国際興業(株)、東武バスセントラル(株)、朝日自動車(株)、(株)SPD セキュリ A、埼玉スタジアム2002公園管理事務所、埼玉県浦和東警察署、(一社)美園タウンマネジメント、さいたま市浦和東部まちづくり事務所
- ▶協力： 埼玉高速鉄道(株)、イオンリテール(株)、埼玉県公園スタジアム課

■その他 本実験に合わせて、公共交通利用促進・地区内滞留促進等に係る連携事業も企画・準備中です。

※各連携事業については、アーバンデザインセンターみその(UDCMi)公式 Web サイト内の実験案内ページ（前掲 QR コード）をご参照ください。内容確定次第、順次更新いたします。

※1 **みその都市デザイン協議会について：** さいたま市美園地区の個性と魅力ある都市空間・都市環境の実現に向けて2016年3月に設立（事務局：(一社)美園タウンマネジメント・さいたま市浦和東部まちづくり事務所）。地元組織・行政・立地企業・大学など“公民＋学”の各主体が参画し（17団体：2019年2月時点）、まちづくり拠点施設「アーバンデザインセンターみその（略称：UDCMi）」を協働・発信の場として、主にまちづくりに係るハード面の検討・協議・調整に取り組む。

※2 **美園スタジアムタウン スタジアムアクセス戦略について：** 2017年4月策定の『美園スタジアムタウン憲章』・『みその都市デザイン方針』に即して、交通渋滞の直接的原因となっている自家用車から、公共交通を中心とした交通手段への転換（モーダルシフト）等を目指し、2018年3月に策定・公表（策定主体：みその都市デザイン協議会）。『世界に誇れる“スタジアムタウン”にふさわしいアクセス環境をつくる』を大目標に、交通手段別にKGI（達成目標）・KPI（成果指標）を設定し、その実現に向けた戦略・プロジェクト等を取りまとめている。

※3 **試合終了後のシャトルバスについて：** サッカー開催日には試合終了後、埼スタから浦和駅・東浦和駅・北越谷駅に向かうシャトルバスが主に運行。（2019年シーズンも同様の予定）

《この件についてのお問い合わせ先》

一般社団法人 美園タウンマネジメント（担当：岡本）

Phone. 048-812-0301 E-mail. info@misono-tm.org